

英語リスニング A Listening A

薬：K2-04111MY、生命：K2-04111MS

素養科目 1、2、3 年／前期 1 単位 選択科目

科目責任者 稲田 俊一郎(英語・言語学研究室)

授業担当者 A・B 組：稲田 俊一郎、C・S 組：林 弘美

■教育目的（各クラス共通）

学生みなさんにとって馴染みのある内容や興味のある話題を英語で聴き取れるようになることに加えて、みなさんの想像を越えた情報を英語で聴きとれるようになることを目指します。そのためには、「英語で聴く」という実践的なリスニング能力に加えて、「英語を聴く」という基礎的なリスニング能力を意識することが重要です。みなさんにとって新しい、もしかしたら予想外の情報を英語で聴きとれるようになるためには、まず、そもそも英語で何と言ったのかという、英語そのものを聴き取る必要があるのです。この授業では英語の基礎的なリスニング演習を行いながら、二つのリスニング能力の向上を目指します。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

■学習到達目標（各クラス共通）

1. 英語母語話者の英語を含め、世界の様々な人が話す英語を聴いて、ニュースメディアの英語から興味のある情報を得られるようになる(知識、技能)。
2. さまざまなメディアで使われる英語の語彙を補強するとともに、英語母語話者の自然な発音の特徴を学び、そもそも英語で何と言ったのか聴き取れるようになる(知識、技能)。

■授業内容

A・B 組 稲田 俊一郎

実際のニュースを題材としたテキストを用いて、海外メディアが発信する英語を自分で理解する方法を学ぶために、以下のことに取り組みます。

- ・ネイティブスピーカーの英語の特徴に慣れる基礎的なエクササイズ
- ・ネイティブスピーカーの英語の特徴を踏まえたメディア英語のリスニング
- ・メディア英語のリスニングのためのボキャブラリー学習

授業では、MY-CAST のオンライン授業システムを活用して、適宜皆さんの回答の一覧を参照します。そのため、リスニング中心の授業ですが、全員参加型の授業となります。また、授業で取り組んだリスニングエクササイズは、自宅学習で何度でも利用可能です。

準備学習（予習・復習）：予習：教科書の該当範囲に知らない単語があれば、辞書で調べておく(20 分-30 分)。

また、付属の音声を確認しておく(10 分-20 分)。

復習：教科書の各ユニットの内容理解の問題や追加のリスニング課題を用いて各自で行う(15 分)。

授業形態：課題解決型学習、双方向型授業 (ICT 活用)、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：毎回の授業では、各課題について参加者全員の回答を参照し習熟度に合わせたフィードバックを行いながら解説します。毎回指定の期日までに必ずそれまでの授業内容を踏まえて課題に回答し、解説を聞きながら復習できるようにしてください。

成績は、

- ・オンラインリスニング課題(MY-CAST)の取り組み(40 %)
- ・期末課題(60 %)

で総合評価します。

教科書：『CNN：ビデオで見る世界のニュース(24)』 関西大学 CNN 英語研究会編著(朝日出版社)

C・S 組 林 弘美

下記テキストを用い、アメリカの学生向けニュース番組 CNN10 を題材として、リスニングを中心とした演習を行う。各学生が音声ファイル等を操作し、自分のペースでリスニングに取り組んだ上で、大体の内容が理解できているか確認を行い、その後、より詳細な部分の聞き取りへ進んでいくようにする。あわせて、語彙力の増強、音読練習、重要表現・文法事項の確認を行う。

MY-CAST 上の音声ファイルやオンライン映像により、各自のペースで授業中及び自宅での学習を進められるように指導する。また、授業では取り上げない Unit に関する簡単なレポートを課す。

その他、コンピュータを利用して、次の演習を行う。

●インターネット上の音声ファイルの利用法の確認

●インターネットによる英文情報検索

授業外の時間にも、引き続き自発的に、これらの演習を取り入れた学習を進められるようになることを願っている。

準備学習（予習・復習）：予習：各ユニットに入る際に、Vocabulary と Vocabulary Exercise に取り組むこと。(30 分)／復習：各ユニットの音声ファイルやオンライン映像を視聴し、内容理解を深めるとともに、Dictation または Repeating や Shadowing に取り組むこと。やり方は授業時に指示する。(50 分)

授業形態：課題解決型学習、双方向型授業 (ICT 活用)、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：・毎回の授業時における各学生の演習の状態を確認し、到達

度を把握する。

- ・小テストを行い、間違えやすいところなどの解説を行う。
- ・講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。
- ・期末試験(70 %)、小テスト+レポート(30 %)で総合評価する。

教科書：*CNN 10 Student News Vol. 11* 関戸冬彦・小暮正人・Jake Arnold・Christopher Mattson（朝日出版社）